

復旧・復興の現状と取組について

平成25年9月5日

奈良県



◆奈良県における紀伊半島大水害からの復旧の状況

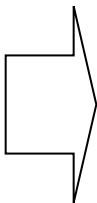
【被害状況】

- 死亡 14人 行方不明 10人
- 全壊 49軒 半壊 71軒 床上浸水 13軒 床下浸水 37軒
- 土砂崩壊箇所 約1800箇所(深層崩壊箇所54箇所)

【避難者の状況】

	市町村数	避難所数 (箇所)	避難世帯数 (世帯)	避難者数 (人)
ピーク時 (H23.9.5)	1市 1町 7村	52	359	938
被災1年後の状況 (H24.8.24)	1市 2村	0	170	346
現在の状況 (H25.8.23)	1市 2村※	0	96	198

※五條市、野迫川村、十津川村

- 
- ・ 避難者数は、順調に減少。
 - ・ 残る避難者の方々にも、できるだけ早く帰宅いただけるよう、対策工事や復興住宅の建設を進めています。
 - ・ 平成26年3月末(一部地区は6月)までには、帰宅可能となる見込みです。それまでは、人道的見地から応急仮設住宅の延長により、住まいを提供する予定です。

◆奈良県における紀伊半島大水害からの復旧の状況

【道路・河川等の復旧状況】

	被害箇所数	工事着手済	工事完了済	完了率	H25年度末見込み
県管理の道路	126	126	108	86%	97%
県管理の河川・砂防	114	113	100	88%	100%
林道	187	169	144	77%	100%
農地・農業用施設	109	108	107	98%	100%

(H25. 8. 31現在)

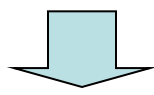
・道路、河川等インフラ関係の復旧は概ね順調に進捗。平成25年度末にはほぼ完了する見込み。
・河川堆積土砂の撤去も、平成25年度末までに完了予定。

五條市大塔町辻堂地区(鍛冶屋谷)



被災直後

平成23年9月5日撮影



現状

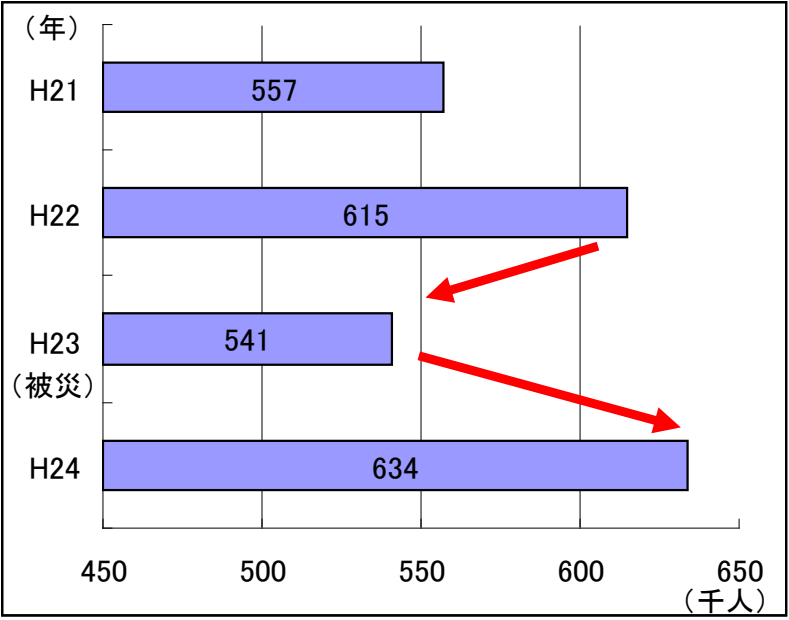
本堰堤工の整備状況(本体完了)

平成25年8月9日撮影

◆奈良県における紀伊半島大水害からの復旧の状況

【観光】

宿泊者数の推移(南部・東部地域)



大阪でのプロモーション活動の様子

・県の南部・東部地域の宿泊客は、被災の影響で大きく減少したが、観光プロモーション、プレミアム宿泊旅行券発行などに取り組み、宿泊客数は被災前(H22)以上の水準に回復。

◆今後の復興に向けた取組

【災害に強い道路等の整備】

■災害に強い紀伊半島を実現するため、地域の「命の道」とするとともに、災害時に緊急輸送道路として「紀伊半島アンカールート」の役割を担う国道168号、国道169号の早期整備に取り組んでいます。

(取組状況)

- 国道168号
 - 長殿道路
H24年度新規事業化
 - 風屋川津・宇宮原工区
H25年度新規事業化
- 国道169号
 - 新伯母峯トンネル
H24年度調査開始



〔国道168号五條新宮道路(十津川村)〕



紀伊半島アンカールート

◆今後の復興に向けた取組

【新しい集落づくり】

- 幹線道路へのアクセスがよく安全な高台での新しい集落づくり
- 自然の地形、環境や既存の施設も活かした集落づくり
- 医療、介護・福祉、防災などの機能を確保する集落づくり
- 将来的には、過疎地の小規模な集落を集約できる集落づくり

○十津川村での取組

・候補地

谷瀬地区

猿飼(高森)地区

・公的賃貸住宅等の建設

平成25年11月以降順次完成予定

・機能

交流広場、共同農地、医療、福祉等
(地域住民のニーズを踏まえて、地域住民
の安心拠点となる施設などを整備)



※現時点でのイメージ図であり、建物(施設)の種類、配置、構造などは検討中。

◆今後の復興に向けた取組

【ふるさと復興協力隊】

○ 紀伊半島大水害による被害が過疎化に拍車をかけることのないよう、復興活動、地域協力活動、地域おこし活動などに従事する人材を県が直接採用し、市町村に配置（平成25年8月末現在で16名配置）

配置済の隊員の主な業務

- 五條市 3名 仮設住宅入居者などの生活支援等
- 十津川村 2名 木彫り・木工指導、林業支援等
- 野迫川村 1名 高野槇を使った産業振興支援等
- 天川村 1名 特産品の商品化・発掘販売促進支援等
- 川上村 1名 ツアーメニュー造成、紀伊半島大水害復興大会支援等
- 上北山村 2名 村おこしメニュー造成、村情報の発信等
- 下北山村 2名 地域特産物の生産販売支援等
- 宇陀市 2名 観光振興支援、鳥獣害対策等
- 高取町 1名 イベント企画運営等
- 黒滝村 1名 農産物の生産・加工支援等



応急仮設住宅での買い物サービス支援の様子(五條市)



協力隊員が開催支援した土曜朝市の様子(下北山村)

◆今後の復興に向けた取組

【南部地域産業復興推進大会(なんゆう祭)】

○ 平成25年11月23日(土)、24日(日)に、川上村大滝ダムサイト及びやまぶきホールで開催

実施内容

- 南部地域市町村物産展(23日・24日)
 - ・吉野郡、五條市12市町村のうまいものや特産品などを販売
 - ・木工などの体験コーナーもあります
- 村弁王(村おこし弁当)決定戦(23日)
 - ・南部地域の食品関係者や加工組合、素人さんたちがつくる「村おこし弁当」の決定戦
- そまびと選手権大会(24日)
 - ・丸太早切りや立木切倒しなど、チーム対抗で林業の技を競います
 - ・丸太1kg引きなど一般参加コーナーもあります
- 大滝ダムの見学会やカヌー体験教室などのイベントも開催

南部地域産業復興推進大会

なんゆう祭

2013年
 ■開催日 / 11月23日(土) ⇒ 11月24日(日) 雨天中止
 10:00~15:00 「大滝ダム」ダムサイト
 10:00~16:00 やまぶきホール
 ■開催場所 / 「大滝ダム」ダムサイト・川上総合センターやまぶきホール

「大滝ダム」ダムサイト会場

- 南部地域市町村物産展 [23日・24日]
- そまびと選手権大会 [24日]
- 村弁王(村おこし弁当)決定戦 [23日]
- ゆるキャラ大集合 [23日]
- 和太鼓演奏 [24日]
- ルシャナショー [24日]
- 大滝ダム見学会 [23日・24日]
- 大滝ダム紅葉ハイキング [23日]
- カヌー体験教室 [23日・24日]
- 親子ピZZア教室 [24日]

やまぶきホール会場

- 第34回 全国豊かな海づくり大会 1年前プレイベント 海づくりフェスタin川上 [23日・24日]
- 逸村逸品展 [23日・24日]
- スローライフフォーラム in 水源のむら川上 [24日]

Facebookでイベント情報発信中!

なんゆう祭は楽しみいっぱい!

川上村へは、大市内から車で約2時間、奈良市内から車で約1時間半!

なんゆう祭フェイスブックページ

南部地域産業復興推進大会開催協議会 〒630-8501 奈良県奈良市大滝町30番地 TEL.0742-27-8473 奈良県南部地域復興課内
 主催 奈良県南部地域復興推進大会開催協議会(奈良県、吉野郡、五條市、大滝町、下市町、柳井村、川上村、柳井町、十津川村、下北町、上北町、東吉野町、川上村、奈良文化造形設計センター) 共催 奈良県、大滝町、下市町、柳井村、川上村、柳井町、十津川村、下北町、上北町、東吉野町、川上村、奈良文化造形設計センター 協賛 奈良県生活協同組合連合会、奈良県林業協会の会
 後援 ことわざクラブ株式会社、大和ハウス工業株式会社、緑友、スローライフ協会